

# 文化資産 × 企業価値

～「氷室椿庭園」主屋保全プロジェクトへのご支援のお願い～

茅ヶ崎市

<連絡先>

茅ヶ崎市役所

企画政策部 総合政策課

建設部 公園緑地課

TEL 0467-81-7194

✉ [kouen@city.chigasaki.kanagawa.jp](mailto:kouen@city.chigasaki.kanagawa.jp)

松尾

大西

# 1 茅ヶ崎の原風景を未来へ ～自然と文化を、企業とともに次世代へ～

## この庭園を守るパートナーになりませんか？！

当市が誇る都市公園「氷室椿庭園」は、三井不動産の元副社長氷室捷爾さん・花子さんご夫妻の庭園及び邸宅が茅ヶ崎市へ寄贈されたことから、平成3年10月に開園しました。

約2,800㎡の庭園には、ツバキやマツ、バラなど1,300本に及ぶ庭木類が植えられており、昭和初期の住まいの趣を色濃く残す邸宅と一体となった昭和の風情と品格が漂う庭園となっております。

しかしながら、築90年近くを経た主屋は老朽化が進んでおり、**登録有形文化財**としてその価値を後世に継承するためには、安全性確保を目的とした**改修工事(耐震補強・保存修繕)**が**不可欠**となっております。

この貴重な文化財を守り、氷室椿庭園の魅力未来へと受け継いでいくため、皆様に改修費用へのご支援・ご協賛を賜りますようお願い申し上げます。



## 2 庭園及び主屋 ～地域と世界をつなぐ文化拠点～

### ■庭園及び主屋

名称：氷室椿庭園  
種別：都市公園(特殊公園)  
庭園面積：2,764.04㎡  
建物：主屋(木造瓦葺二階建て)  
(1階:94.87㎡、2階:28.92㎡)

昭和10年 建築(123.79㎡)  
昭和35年 増築(51.50㎡)  
平成12年 増築(7,965㎡)

### ■ツバキ

植物の愛好家であった氷室夫妻は、特にツバキとバラを数多く庭園で育ておりました。自ら品種改良も手掛け、農林水産省に登録された品種もあります。

庭園内には、約900本のツバキが植えられており、氷室さんが実生・育成したものが、約550本(命名されたものは121品種)植えられています。

### ■歴史的背景

平成30年11月2日 登録有形文化財(主屋)  
(主屋概要)  
三井不動産元副社長氷室捷爾氏の邸宅跡  
(明治38年12月22日生、昭和63年9月没)



### ■過去の取り組み

○ツバキ40品種が「茅ヶ崎市氷室椿庭園 氷室氏作出ツバキコレクション」として、2024年4月に公益社団法人日本植物園協会のナショナルコレクションに認定されています。



- 氷室椿庭園は、国内外からの注目も集めており、近年では国際ツバキ協会の公式訪問ツアーにより、欧米やアジア各国の専門家や愛好家120人が当園を訪問しました。
- 当園では、解説を交えた独自の庭園ツアーを随時開催しており、来園者に対してツバキや昭和の邸宅文化の魅力を伝える機会を創出しています。
- 2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)に出展を予定しております。

### 3 主屋の改修の必要性とご支援のお願い

氷室椿庭園内にある主屋(昭和10年築)は、今後の利用拡大を見据えた保全的整備が急務となっております。その一環として、建物の安全性向上(耐震性の確保等)と、文化財としての魅力維持のための改修計画が検討されています。

#### <現状の課題>

- ◆建築から90年近くが経過し、構造部材・屋根・内装の老朽化が進行
- ◆耐震基準未達による安全面の懸念
- ◆文化財としての魅力維持と安全性確保の両立が課題
- ◆今後の活用(展示・交流・教育プログラム)に対応できる改修が不可欠



## 4 主屋改修計画の概要 ～90年の時を超えて、次の100年へ～

### <主な改修内容>

- **外装**  
屋根葺き替え  
外壁補修・塗装  
耐震補強工事
- **内装**  
床・壁・天井の張り替え  
断熱材の追加  
水回り設備(トイレ・キッチン)更新
- **設備**  
電気配線・照明更新  
給排水の更新  
空調設備の導入
- **その他**  
防災設備(消火設備・非常灯など)

### <主なスケジュールおよび費用>

年次	項目	内容	概算費用
1年目	文化財保存調査費	計画策定・耐震診断	26,000,000円
2年目	補強・修理等設計	基本設計・補強修理等 実施設計	24,000,000円
3年目	主屋改修	外壁、内装、設備の整備	40,000,000円
3か年	合計		90,000,000円

## 5 支援がブランドになる

### ◆企業価値・ブランドの向上

文化財の保存は、企業の理念・文化継承への姿勢を広く示す社会的貢献事例となります。

### ◆地域・文化の共創

- ・地域住民・来訪者の交流を促す拠点形成(ツバキや園芸文化を軸とした地域体験プログラム)
- ・インバウンド・訪日観光客向けの特別企画(インバウンド客に日本の伝統文化体験の機会を提供)
- ・ツバキを活かしたオリジナル商品・ノベルティ開発(新たなブランドの構築)
- ・企業主催イベントの開催(庭園を貸切活用)

### ◆広報・PR展開

ネーミングライツ、園内プレート設置、公式HP・SNSでの発信を通じ、企業の文化貢献活動を積極的に発信していきたいと考えております。

### ◆CSR・SDGs貢献

文化・教育・地域共創を通じてSDGs 11(住み続けられるまちづくり)等に寄与

### ◆企業版ふるさと納税の活用

「企業版ふるさと納税」を通じて寄附すると、法人関係税の最大約9割が税額控除され、実質的な企業負担が少なくなります。

**⇒ 貴社の社会的存在価値を高め、地域の皆様と共に未来を創るプロジェクトです。**

## 6 最後に ～企業と地域がともに輝く～

文化財保全支援を通じた社会的価値創出とともに、貴社の企業ブランド向上・CSR/CSV・地域貢献実績の最大化を図れるように、共創モデルを構築していきたいと考えております。

氷室椿庭園は、昭和の邸宅文化と園芸の精神が息づく、日本の美の原点とも言える場所です。

本市では、この庭園を単なる保存ではなく、地域と企業が共に未来を創る舞台へと発展させたいと考えています。

皆さまのご支援により、文化と地域と企業が共に輝く新しい価値を生み出していきたいと考えております。

ご賛同・ご協力を  
心よりお願い申し上げます。



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター  
ちがさ貴族 & 波の精霊  
えぼし麻呂 & ミーナ



CHIGASAKI  
CITY